

中野 寛之 議員



一問一答方式

- ①子育て支援政策
- ②市内循環バス「ぐるりんおおず」
- ③洪水時に備えての車両避難
- ④市内高速情報通信網整備
- ⑤市内小中学校の運動会及び体育大会

子育て支援政策について

問 子育て世代の経済的負担軽減を
目指して、10月1日より幼児教
育保育の無償化が全国でスタートす
る。預け先や子供の年齢、保護者の
所得に応じて全額無償になる場合
と、上限額が設定されている場合が
あるなど、やや制度は複雑である
が、市内での対象者数はどのくらい
になるのか。

答 無償化の対象となる児童数は、
9月1日現在認可を受けている

幼稚園、保育所、認定こども園に通
う3歳から5歳児911人のうち、
ひとり親対策、多子世帯対策等で既
に無償となっている312人に加
え、新たに601人が対象となるも
のです。また、ゼロ歳から2歳児ま
での保育所等を利用して児童
438人のうち、住民税非課税世帯
の児童は45人で、既に無償となっ
ている41人に加え、新たに4人が対象
となるものです。愛育ホームを利用
する3歳から5歳の児童は46人が無
償の対象となり、既に利用者負担
が無償となっている児童が22人で、
今回新たに24人が無償となるもの
です。

市内循環バス「ぐるりんおお
ず」について

問 昨年の循環バス再開に向けての
協議の中では利用者数の目標は
1日約200人と伺ったが、今年3
月の数字を見ると、今後はより一層
の利用促進策が必要ではないかと思
うが、市の見解を伺う。

答 現在、交通空白地対策として、
南久米地区や豊茂地区で実証運

行を進めています。運行範囲は直
近の交通結節点までとしていますの

で、循環バスをはじめとした中心部
交通や、幹線交通との時刻調整や連
携により、さらなる利用促進を図っ
ていきます。また、循環バスの車両
は、伊予鉄南予バスの路線バス長浜
八幡浜線と同種類の車両を使用して
いるため違いがわかりにくい状況で
すが、今年度車両を更新するよう準
備を進めており、新車両が走ること
で周知にもつながるものと考えてい
ます。

さらに、スマホなどによる公共交
通時刻などの検索については、ジョ
ルダンやNAVITIMEといった
乗りかえ案内アプリへ情報登録を行
い、既に経路検索や時刻案内などが
可能となっております。今後におい
ても、観光客をはじめ利用者にわか
りやすい情報発信などに努めていき
たいと考えています。

市内高速情報通信網整備について

問 大洲市復興計画の中の令和5年
度までの長期対策として、生活
基盤の再生、社会基盤整備の項目の
中の一つに、市内高速情報通信網、
光回線の整備の検討という項目が明

記されている。

県内他自治体の例などを検討して
みると、これらの事業には結構な予
算が必要と予想されるが、現時点で
の事業費総額の見積もりと、その財
源について、どのような方針を検討
中なのか。

答

不採算地域については、民間通
信事業者が積極的に光通信エリ
アを拡大する可能性は極めて低いと
考えています。近隣自治体では、民
設民営負担金方式により整備を進め
ている事例があり、先日民間通信事
業者からその提案を受けたところで
す。この負担金方式での整備に係る
本市負担額は約31億円、内訳は施設
整備費が約23億円、運営費が約8億
円となっております。さらに、整備条
件については、市内の光ブロードバ
ンド未整備地域全域整備が大前提と
なり、一部地域のみでの整備の場合
は、事業は実施できないということ
です。財源は、総務省の補助事業で
ある高度無線環境整備推進事業が適
用可能ですが、補助対象となるのは
施設整備費のみで、補助率は3分の
1、残りは地方債を充当することに
なると考えています。